はばたけ

名護幼稚園
名護小学校　便り27号
令和5年　12月5日
発行者　仲宗根 勝也

楽しかった おもちゃランド

名護小学校ホームページに
カラー版を掲載しています。

11月30日、2年生の皆さんが幼稚園生と1年生を招待して「おもちゃランド」を開催しました。

2年生が各学級で工夫を凝らして手作りした釣り、的当て、もぐらたたき等のゲームのお店や折り紙、アクセサリー、帽子づくり等の遊び場のお店など、たくさんの場がありました。幼稚園生と1年生それぞれ一時間ずつだったので、全ての遊び場を回ることは難しかったかも知れませんが、遊ぶ側も遊ばせる側の2年生も大満足の笑顔でした。

2年生の担任からは、お兄さん、お姉さんとしての姿がとても頼もしく、子どもたちの成長がとても感じられたとのお話がありました。異年齢の子どもたちが交流する活動は、社会性の育ちに効果があると言われています。特に、子どもたちが楽しいと感じられる活動は、自己有用感や自己効力感が育つ絆づくりに大いに有効な手立てとなります。名護小学校では、このような異年齢交流活動がたくさんありますので、できる限り紹介していきます。お楽しみにしてくださいね。

私は生活の時間に2年生のみんなとおもちゃランドをしました。1年生とようちえん生がよろこぶようがんばって作りました。1年生もようちえん生もよろこんでいました。みんなが楽しいと言ってくれたのでうれしかったです。
もぐらの作り方がわからなかったけど、しらべてみたらかんたんな作り方が出てきて、かわいいもぐらが作れました。ダンボールの中はとてもあつかったけど、上手にもぐらを出せたので、うれしかったです。またやりたいです。　中村かりん

ハピネスマップ

11月27日にハッピートークアカデミー協会（代表池崎晴美さん）の方々が「ハピネスマップ」を使った出前授業をしてくださいました。ハピネスマップとは、自分へのハッピーな言葉や大切にしている言葉、感謝の言葉、私ってこんな人、社会の一員としてどうなりたいか等の想いを画用紙に書き込んだものです。ハッピーな言葉をビジュアル化することで脳に刺激を与え、自己肯定感が上がる等の効果が期待されるようです。子どもたちは、事前に準備した自分のハピネスマップを堂々と発表していました。

本校の学校評価課題の1つに「言葉遣い」があります。このような授業を通して、言葉の持つ力を認識し、正しい言葉や相手を幸せにする言葉遣いを大人も子どもも学んでいきたいと思いました。

調べたことを伝えよう

4年4組さんは、国語の授業「ウミガメの命をつなぐ」の学習のゴールを「自分で選んだ生き物のすごいところを3年生にわかるように要約し、伝えよう」としていました。そして、調べたい生き物のことを図鑑を使って要約し、3年生にも伝わるようにスライドにまとめる学習に挑戦しました。そして、兄弟学級の3年4組さんと交流し、まとめたことを紹介しました。

4年生がいる場所へ3年生が次々に回るスタイルで学習が進められていました。一生懸命にお話をする4年生のお兄さんお姉さんに3年生は、ちょっぴり緊張気味でしたが、だんだんとリラックスムードとなり楽しそうに交流している様子が見られました。1つ違いですが年上らしさを発揮していた4年生でした。お疲れ様でした。

今日、3年生に自分が選んだ生き物のすごいところをわかりやすいようにまとめたスライドを見せながら説明したり、交流したりしました。3年生が「すごいね。」と感想を言ってくれたので、夜もがんばって文を直したりしてよかったと思いました。皆で仲良く楽しく交流できてよかったです。　　上 原　凛

県大会出場！快進撃の男バス　Aチーム

11月25日に行われた第116回国頭地区ミニバスケットボール交歓会において男子Aチームが優勝し、県大会出場を決めたことを報告に来てくれました。また、夏休みに行われた県大会で敢闘賞を受賞したこともあわせた報告してくれました。

県大会は、12月26日に名護小学校体育館にて行われるそうです。地元開催ですので、ご都合がつく方はぜひ応援をお願いします。男子バスケットワールドカップのように応援の力で選手を後押しできたらと思いますので、よろしくお願いします。

Aチームの皆さんの大活躍を期待しています。優勝目指して、ガンバレー！

チームワークで準優勝

10月29日に行われた第62回名護市ミニバスケットボール大会において、女子Bチームが準優勝したことを報告に来てくれました。女子Bチームは、4年生主体のこれからのチームです。

今回は準優勝でしたが、次は、優勝するぞーと意気込んでいました。チームワークを大切に、これからも頑張って欲しいと思います！